

# 図書館便り

## 50冊読書記録達成



今年度は、漫画や図鑑など以外の図書を読んだ時、カードに書名とお薦めの度合いを星の数で記録しています。そして、これが50冊に達した児童には、記念のしおりをプレゼントしています。

1月24日現在で、66名の児童にしおりをおくりました。

読書記録カードを活用することで、高学年では、自身の読書傾向を知る手がかりになりますし、低学年では、読んだ冊数の累積が自信や励みにもなるでしょう。

残りの時間を有効に使って、読書を楽しんで欲しいと思います。

## 読書週間 親子読書アンケートから



春と秋の読書週間には、ご家庭の協力を得て親子読書を実施しました。秋の親子読書カードの記述からいくつか抜粋してみました。読書週間に限らず、「家族で読書」・・・続けてみてください。

- ・科学のお話人物伝を読んでいた。読み聞かせをしてくれて、楽しい一週間でした。(1年)
- ・今回は自分から積極的に本を読むようになり、うれしく感じました。(2年)
- ・今までは読んであげていましたが、3年生になって自分が読んで教えてくれたのでお兄ちゃんになったなあと感じました。(3年)
- ・のりのりで読んでいました。本の世界にどっぷり浸って、これからも楽しく読んで欲しいです。(4年)
- ・日ごろ一緒に読むことがないのでよかったです。また、一緒に読もうね。(5年)
- ・一緒に本を読む時間をもててよかったです。(6年)

## 貸し出し数の多かった本

今年度(4月～1月)貸し出し数が多かった本は・・・

下学年は、上位10作すべて「かいけつゾロリ」シリーズ(原ゆたか・作)でした。

上学年は、グレッグのダメ日記(ジェフ・キニー・作)

マジック・ツリーハウス

まんがでよくわかるシリーズ「〇〇のひみつ」などで、文学、自然科学、歴史など様々なジャンルにわたっていました。次第に一人ひとりの個性が反映されてきているのかも知れません。

ただ、いずれも、漫画であったり、非常に読みやすい本が上位になっています。

気軽に読めるものも数多くありますので、本が苦手な子も、まずはそんな本を入り口に本に親しんでくれたらよいと思います。そして、時には、読み応えのある読み物、各年齢で是非読んで欲しいものにチャレンジしていくといいですね。